日刊
磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町[illegible]51
電話219番
振替口座仙台81558番
編輯人 高瀬 [illegible]
印刷人 發行人 長瀬芳郎

失業對策委開催

事業の切替等協議

小名浜町失業對策委員会は二十二日午前十時より町役場町長室に於いて小野(作)委員長、金澤副委員長、馬上、木村、小野(禮)の各委員、長瀬副議長ら参集、町側より長瀬助役、馬上土木課長、草野係員出席次の案件に對して協議した

一、第二中學校敷地整理工事について
二、都市計畫街路、上町神白線道路改良工事の地方救濟事業としての切替について
三、都市水利小名川護岸災害復舊工事について
四、保育所敷地地盛工事について
五、小名浜第一土地區劃整理地内區畫道路第七號線街路新設工事の失業對策事業としての申請について
六、都市計畫街路渚、岡小名線街路新設工事の國庫負擔による失業對策事業としての申請について

報告事項として
一、第二中学校敷地整理簡易失業救濟事業第四四半期立替工事務費は二十四日限り打切る
二、全体主義の攻勢に對して当局将来の對策

防火の宣傳

福島縣廣報車は防火並に農業共濟(建物)事業宣傳のため二十日午前十一時半小名濱町に来車、警察署会議室に於いて御代消防團長外副班長以上約五十名が参集して座談会を開催、縣消防課青木主事は縣下に於ける火災の原因、損害、消火の状況等を各地の例を擧げて詳細に説明したが廣報車も町内各所で防火放送宣傳を行つた

縣知事がくわ入れ

四時川沿岸土地改良

川部、勿来、錦の二町一ヶ村にまたがる灌漑面積四百十三町の縣營四時川沿岸土地改良事業の起工式は来る二月十六日午后一時より錦町大字大倉地内で大竹縣知事の鍬入れで行う同事業は二ヶ年計畫、總工費二千九百万円(本年度予算二百十万円)完了予定は廿七年三月末の見込

モノサシ
マス
ハカリ
体温計
寒暖計
小名浜町
資生堂
電147番

玉山橋復舊

大野村大字表玉山地内玉山橋は廿五年四月災害で流失しその復舊工事を工費六十万円で平市堀江工業が請負昨年八月着工してこのほど完成廿二日午前九時から竣工式を行う

參院候補 立會演說

參院立候補者の立會演説は次の日程で(縣下十九ヶ所)で行われる
二月四日小名浜(第一小)二月五日、平(公會堂)時間は午後六時半より九時五十分まで

青年学級生 公判傍聴

小名浜町公民館主催による青年學級では社会科の勉強のために來る二十五日午前九時半より福島地方裁判所平支部に於いて公判の傍聽をなす

引揚者住宅

小原氏に落札

昨二十二日小名浜町々長室にて午後二時より同町吹松地内建設予定の二棟四戸建引揚者住宅の指名入札を行つた、開票の結果同町須賀町小原松之助氏が三十一萬三千五百円にて落札、近日着工の筈完成は三月廿五日の予定

經濟委開催

入札者九名決定

昨二十二日午后二時より小名浜町々長室にて經濟委員会を開催、小名川右岸觀音橋より土原橋間百八十二米の石積工事の請負業者選定法につき討議の結果、在町土木請負業者九名に對し説明会を行い、来る二十六日入札する事に決定午后三時三十分終了

小名中見事優勝

郡下中學卓球大會終る

縣中學校体育連盟石城支部主催、縣小中学校長協議會石城支部会並に縣教員組合石城支部後援の下に廿一日草野中學校に於て行われた卓球大會は藤間、小名浜、好間、草野、錦、内郷一、内郷二、四倉、上遠野(女子不出場)、川前(男子不出場)の十中校出場して開催された

小名浜中學男子部は第一回に藤間中、準決勝は錦中、決勝内郷第二中を擊破して見事優勝、女子部は第一回戰に内郷第一中を破り準決勝にて川前中のため惜敗した

なお小名浜中學校は二十五年度に於ける卓球大会に出場して三度目の優勝である

冷寒襲う

小名浜地方では昨二十二日夜零下五、七度(平年二、三度)となり今冬最低の氣温を示めした、これはシベリヤの寒波が襲來したもので今明日(二十二、三日)はなお此の寒さが續くが明後日(二十四日)頃より幾分和らぐ筈(小名浜測候所發表)

街の音盤

小名濱町定西稲木アキ(三九仮名)さんあれでよくも夫妻になつていられるかと思う程犬も喰わない夫妻喧嘩の連鎖だ、なる程喧嘩する程熱くなると言うから外で見る程心配はないのかも知れないが、よく喧嘩の種がつきないものと鬩やきながら心配させられる、「とりや－早やくしねえか、何じだと思いやがんだ」「朝つぱらから、そんないけえ(大きい)聲立てねつたつてツンポじやあるめえしわかるよ」「ぐず〱いうねえ、早やく辨当詰めろよ」「勝手に詰めていんぎやがれ(行きなさい)」とおアキさん、カッチラカシたお膳にお尻を向けストリップ、ショウでもなけりや余り見られない偉大なるオッパイ(乳房)を露出させて子供にふくませている有様、夕方は夕方で御主人様の御歸館などは意にもとめず、夕飯の支度をするでなし練馬大根のような太股をあらわに子供と添い寢が日課のようだ

このおアキさん、或る夜八時頃小用は我慢の出來る限り我慢していると見え少し離れた共同便所へ御出張に及ぶのにも間に合わぬらしく、表戸をガラリ開けるや脱兎の如く走り出て八間道路を後ろにくるりお尻をまくり上げると一しや千里の勢で放尿に及んだ、途端に一人の醉漢、いい氣嫌になつての千鳥足で通りかゝつた、何を思つたのかツツとおアキさんの後ろに廻りポーンと力一ぱいお尻を蹴上げたからたまらない あれ－という間もなく下水に眞つ逆まに墜落、おかげでお顔(疵が出來ても大して苦勞になる御面相でもないらしい)に全治一週間の疵を負わせた、彼の醉漢はとみれば月形半平太が京の三條大橋で新ぜん組の夜襲をうけ名刀一文字國重を正眼にかまえ「よらば切るぞ」と大見得をきつて乱闘ひととき、一同をなぎ倒して、「春雨じや濡れて行こう」と引揚げる姿よろしく意氣揚々として町角を曲る、折柄古湊の淨光院の鐘がゴーンとなれば正にあつらえ向き

議員の横顔 ②

平支局 梅野生

市政と市民生活の名醫

〃宣傳嫌い〃 酒井保氏

酒井さんの門には簡單に〃酒井醫院〃と秋峯の書と思われる素朴な看板がかかつている、その看板が、酒井さんの人となりを端的に表現しているようだ

醫学博士、市會議員、そう言つた肩書は酒井さんに取つて、負擔でこそあれ現在の酒井個人の心境からは、いささかもプラスの点に思われていない、長男は建築技師になつた次男は会社員となつて醫道を輕く一蹴した、酒井さんは必ずしもリベラリストではない、次々に自分の意志に反して伸びてゆく愛兒たちの成長は、いわば寂しい喜とびに過ぎなかつた、それかと言つて、子供の意志を斷あつするには、酒井さんの教養と性格が邪魔になつた

父祖から代々受け繼いだ醫業を、醫は仁術なりと後生大事に護つて來た酒井さんであつても、末つ子の愛孃を醫者に仕立ることは死んでも出來なかつた

酒井さんは謠曲が好きである、寧ろ唯一の趣味というべきであろう

〃との時義經少しも騒がず〃 とのような自分の心境に鞭打つて、辯慶の一節をうなつても、その聲が嗄れた、日夜煩もんと焦燥が酒井さんの髪の毛を一本二本と減らして行つた

その氣持を知つてか知らないでか三男が醫科を選んで芽出たく入學した時酒井さんは茶の間でしみ〲とツネ子夫人の顔を見詰め、ホッとした安堵の吐息を漏らしてから、ニコッとした笑顔を見せた、實に幾年振りの快心の微笑であつたろう、との時如何に夫妻で喜んだか、赤飯を一斗もたいて看護婦一同にまで振る舞つたことでも想像されよう

酒井さんは新聞記者が嫌いである、いや、宣傳を好まない性格である

「先生は酒を呑みますか」「知らんよ」「先生の學位論文は」「忘れたよ」「先生の趣味は」「皆目ないね」「インシュリンの何々に及ぼす影響と酒井博士の一列横隊型毛髪の相關性に就いで」そんな三十六字もある醫学徒のえらびそうなダラ〱長い命題をフット頭に浮かべながら、次の間をみると薔薇のように美しいお孃様がスペンサーの〃第一原理〃を讀んでいる、これなん、目白女大を出たばかりのさと子さんである、父君に代る助け舟、言うことも簡明直裁である、「父は必ずしも人間嫌ひでなく、患者には極めて親切ですよ」「酒は毎日一本宛正確に用います」正確にと言うことは、超過量を敢えてやらない飲み方の謂いであろう

議席に於いては四部に屬し、教育部門を擔當してゐる氏の謹嚴實直居士の稱ある所以もとゝかと覗われる

今次市議戰には隱退してツネ子夫人を出馬せしめると言う風評もあるが、眞の胸中は馳け出し記者の知ることとならず、遥か奥の間から聞えて來る「春の夜の闇はあやなし梅の花……」の喜多流朗音に送られながら、好漢愛すべしと、辭し去る外はなかつた

二本立・24日—26日・同時上映
戀に泣くバレリーナ!! 轉落の踊子!!
華麗な肉体をヴェールを通して見た
女性の眞実
原作芹澤光治良(婦人倶樂部連載)
裸女の愁愁愁愁ひ
キャスト
大瀧愛子(小牧バレエ團) 逢初夢子
花柳小菊 佐久間三千代(NDT)
藤田進 柳川敏子(NDT)
「東寶新名物與太者トリオ誕生!!」
純情で正義派で一寸トンチカンで
うれしい巷の小英雄です
與太者と天使
キャスト
相原巨介 三谷幸子
大村千吉 霧立のぼる
水谷史郎 澤村貞子
磐城座

タイコ
お正月 新調、張替
鳥小屋用 勉強いたします
(御照會次第定價表送ります)
平市立町八七
各種太皷製造元
佐藤榮吉商店
電話(平)四八三番
◎諸毛皮の揉製を引受けます

◎◎◎◎◎◎
外務社員急募
(男女共六名)
容姿すぐれたる女性
信用のある男性 すぐ來れ!!
◎固定給あり
希望者は一月二十六日午前十時迄履歴書持参の上來所されたい
うちわ、扇子、カレンダー
廣告マッチ及ケース
諸印刷、廣告一般
大和カレンダー平營業所
平市一丁目三一番地
(坂本紙店向)
電話一九三番

内科
小兒科
賀澤醫院
小名浜町花畑三七
賀澤貞雄
電話二九三番
△看護婦募集▽

漁夫路上にもん死
加害者スピード逮捕

二十日午後九時半頃小名浜町中通り中華料理金華亭前の路上に十八、九才の男が死亡しているのを全店主御代保さんが發見直ちに小名浜署に屆出た取調の結果全町舟引場鷺王院こと高橋友吉さん方漁夫相馬郡眞野村烏浜林伊佐男（十八）と判明した

林は二十日夜八時頃まで翌日出漁するため出船の準備をなし船主より二千圓、前借りして友人達と入浴に中島釜の湯に行きカフエー梅の家こと山藤シメさん方を訪れ、接待婦の遠藤トヨ（二三）さんより手拭、石鹸をかりて行く途中カフエー相澤の附近にて二十才前後の不良らしい男に因縁をつけられ、同行した阿部某とともに毆打され、阿部は近くの釜の湯に逃げ込み、林はそのまゝ前記金華亭前まで逃げて行き倒れたものである

なお過般磐崎村炊事婦殺し捜査のため出張中の國警本部本田刑事部長は二十一日午前二時来町捜査に協力した

死体は東北大學三木博士の執刀のもとに二十一日午後六時より宮ヶ浦病院に於いて解剖した結果頭部及び頸部に内出血がみとめられるが死因については目下の處斷定されないとのことで三木博士は二十二日歸仙した

事件發生と共に鈴木署長總指揮のもとに犯人捜査に全力を盡した結果全町竹町五一左官草野幹男（二三）全町船引場四七漁夫松原喜一（二三）江名町中之作土工野崎勇（一八）の三名を有力な容疑者として逮捕取調の結果書類身柄ともに二十二日午前送検した

犯罪の陰に躍る
ヒロポン禍やまず

▽犯罪の陰と結びつきやすいヒロポン類の覺醒劑が製造禁止の斷で一應社會からほうむられたかにみられたが、平地方の中毒患者は依然として減つていく傾向はなく、見ればば打ちたくなる「ヒロポン」の心理をねらつて戸別の賣込みが横行している情報もあり郡下某高校の野球部で將來有望視されていた主力選手數名がヒロポンから脱落して使いものにならなくなつたことや、町や山のゴロツキ連のヒロポン代欲しさの犯罪などから法網を潜つて中毒者に賣り歩く惡德ヒロポンブローカーのの一掃が望まれている

▽去年十月頃からヒロポンの取締りが一段と強化された

當時一アンプル十円のネオアゴキンは製造禁止の切札と共に卅圓にはね上り、昔のヒロポンのレッテルのはつてあるのは五十圓の聲もでている

市内の中毒者數は去年暮の百名から經濟難、入手難がたたつて常習者は約半數位に減つているが、「アレバ打つ」組も合わせるとその數には大差はないとみられている

問題の販賣經路は常習者數名が市内の中毒者の家庭を訪問「お宅の誰さんは居りますか……實はヒロポンなんですがとヨダレのたれそうな中毒劑を並べる、本人が留守でも〃ヒロポンの切れた時の狂暴性〃を知つている家族の弱身につけ込んで賣つていくという惡らつそのものである

▽一方市内高校生にも「試驗勉强のため」の名目で昨秋頃流行したが、現在では學校當局の取締で相當數減つている

市内の藥局では最近ではすつかり自粛しているので中毒者の來局も全くなくなつたと口をそろえていつている

また新春早々市内に濃度の薄いネオアゴチンの密造品が大量に現われており保健所では生命に危險があると警告を發している

第三回公判
日素の法廷斗争

日本水素前労組長上坂昇氏外八名（組合及新妻武夫氏の兩者は取下げ）の提訴に係るレット・パージ反對法廷斗爭第三回公判は来る二十二、二十三の兩日福島地方裁判所平支部會議法廷にて開廷される

漁夫の凍死

小名浜町元分一一漁夫志賀佐太郎（四一）さんは昨年八月頃より精神病のため自宅に於いて靜養中であつたが二十二日午前二時頃無斷家出して全町榮町五魚市場東側道路上にて凍死していたのを發見小名浜署にて檢死家人に引渡した

日本刀で切らる
嘉寶丸船長とんだ御難

二十日午後十一時頃小名濱町魚市場にて魚水揚中の全町定西高木嘉一郎氏所有底曳船嘉寶丸船長吉田一（三〇）さんは小名浜廻船中の四國第八大成丸乘組員眞鍋照（二二）に双渡り一尺八寸の日本刀にて突然切り付けられ、左手にて受けたため左指に全治一週間の切傷を負つた、眞鍋は過般同僚と共に町に出た際何者かのために毆られたので仕返しをすべく船中に隱匿していた日本刀を持出し相手をさがしたが見當ず船に歸るとき魚市場前に於いて兇行に及んだものであり、傷害並に兇器不法所持のかどにより二十二日身柄送檢された

ナトコ映寫機
操作講習會

縣教委石城出張所、平石城地區視覺教育普及會共催のナトコ映寫機操作講習会は部内町村を二班にわけ平第二小学校で第一班は一月二十七、八日、第二班は同二十九、三十日の各二日間いづれも午前八時半から午后四時まで視覺教育の在り方並にナトコ映寫機ベテラー幻燈機の操作技術について講習があるが受講者は制限なく社教、視教育に熱意ある公民館職員、青年会等各種團体關係者、学校教職員の聽講を歡迎

乞食の親分少尉殿
浮世の商賣やめられぬ

平市内並に近在に住む乞食は約三十人といわれている、松ヶ岡公園下を根城とする七五六人の乞食の親分は關西方面生れの元海軍主計少尉とのことで名前は絶對に秘密にしている、同公園下に住んでいるものは殆んどが復員くずれで極めて組織化され規律も嚴重である、そのため附近の者の評判は非常によく親分の命令で無理な物乞いは絶對にしない、若しこれを犯した場合は手きびしいリンチを受ける

また城山下の穴倉に巣を作つている連中は主に夫婦氣取で穴倉に住むという名目だけで生活は一般と變りなし入浴にほ機關庫の風呂に行つているとか

服裝は親分を除いてはツギハギだらけのボロではあるが、清潔で一週一度の洗たくはかならずするという、規律さえ守れば安住して生活が出來、子供をもつた夫婦圓滿組もある、又過日は野犬狩に協力して附近の評判は益々よくなつて來ている、この主計少尉の親分も立派ななりをして妻を養い五万円ぐらいの現金をもつているというから大したものだ、碁も強く初段の腕前があるといわれている

小説　雲遙かなり ⑮

伊納川銀

女心は　三

「どうだつた？」

針仕事の手をとめて、三池子は氣重く歸つた夫の顏を見上げた。

「だめだ。もう絶望だね。」

優治はどつかりからだを落とすように腰をおろした。

「とうとうあいつも死ぬか。」

「まあ、かわいそうねい。」

三池子は眉をひそめた優しさの溢れた地藏眉である。

「行く途中で富枝に逢つた。」

「まあ、富ちやんと？」

「うむ。噂の通りだ。長田と一緒だつた。」

「長田さんと？どこで？」

「墓が丘だよ。バスの時間があつたんで、あそこでちよつと休もうとしたら、ぱつたり逢つたんだ。」

「まあ。」

「富枝はどうしても戻らないという。一目だけでもと言おうと思つたが、あの調子じやだめだ。僕は長田と絶交をして來た。」

「まあ。」

三池子は氣の毒そうに夫の苦惱に歪んだ横顏にそつと目をやつた。

「富枝は僕達一家を恨んでいる。秀平を愛していたといつた。その愛情をふみにじつたのはだれだと食つてかかつた。あいつはもう秀平を忘れている。長田にすつかり溺れているんだ。」

「女心は哀れなものねい。」

「秀平は愛すればこそお前と別れたのだといつてやつた。そしたらそれは噓だというんだ。本當に愛しているなら、死んでもいいからなぜ一緒においてくれなかつたかというんだ。」

「そうよ。女心つてものはそういうものなのよ。何かに縋らなければ生きていけないものなのよ。夫の肉体が丈夫だとか病氣だとかそんな事問題じやないわ。ほんと。夫の肉体などなくつたつて自分はとことに縋つて生きていけると思えば、それで女の幸福があるのよ。それを知らないで、病氣がうつるの、二人が弱るのつて富ちやんの心のより所を奪つてしまつたんですもの。富枝ちやん怒るのむりないわ。」

「いや、それよりも變なのはね。病院に行つたら送り主の判らない電氣カバーが届いているんだよ秀平に聞いたら富枝からだというんだ。まさかと僕は思うんだが。」

「いーえ。富ちやんよ。たしかにそれ富ちやんだわ。ではやつぽり富ちやんは秀平さんを愛しているのねい。」

「だつてお前。」

「だめ、あなたには女の心が判らない。秀平さんを愛してるからこそ長田さんに縋りついてんのよ齒をくいしばつて秀平さんを思い出すまいとしているのだわ。長田さんを愛しているのだわ。」

「僕にはさつぱり判らない。」

「あなた。富ちやんのうちから別れさせてくれといつて來たとは富ちやんにいわなかつたでしよう。」

「そんなこというもんか。」

「良かつた。良かつた。秀平さんには悪いけど、これで富ちやんが幸福になれるんなら。わたしいいと思うわ。長田さんの奥さんがねい。」

交々の思いで二人は顏を見あわせた。醬油庫からコッツンコッツンと樽を打つ音が聞える。

明日の暦　廿三日（火）

日出	前	六時四十一分
日入	後	四時四十七分
滿潮	前	五時五五分
	後	三時三五分
干潮	前	十時三五分
	後	十一時〇分
月齡		一五・三
通日		二三

魚菜市況　22日

【小名浜中央青果市場】

さつま	三一～四〇円
ぢやがいも	四五〃
人參	五五～六二〃
油菜	四〃
丸大根	三～三一〃
ねぎ	三六～四〇〃
ほうれん草	六五～七〇〃
白菜	六五〃
午ぼう	九六〃
切芋	一七〇〃
卵	一〇、七〃

【小名浜魚市場】

たこ	四五～九〇円
そげ	三五〇〃
平目	六五〇～九〇〇〃
もち	一七〇〃
またと	三〇〇〃
唐人	二五～四〇〃
さめ	一〇〇～一〇五〃
いか	三七～六二〃
めた	三五〇〃
たら	一三〇～一四〇〃
水たら	四〇〃
のど	二八〇〃

今日の天氣

【今日】北西の風一時稍強し晴るも曇り勝の天氣で朝晩冷え込みが強い、山沿い地方では時々小雲がちらつきましよう

氣管の弱い人に
寒がりな人に
かぜひき易い人に
おすゝめしてお蔭で丈夫になつたと喜ばれるよいお藥御座います
小名浜町中島通り
長生堂藥局
TEL 370

◦カフエー◦
◎新築移轉お知らせ◎
新装せる 氣分のよい
柳屋へ
湯本町字吹谷八〇
電話一二三四番
女給さん數名入用（滿18才―25・26才迄）

高級和服
多量入荷
皆さんに良い品を、安く経濟的に着ていただくために！
京屋衣類店
湯本町品川煉瓦工場前
是非!!御來店下さい

旅館
若葉館
小名濱町水素前
（電話三五〇番）
急募　御座敷女中さん　數名

パチンコ出現
湯本町吹谷町「タモツ」キャンデー屋方ニ出來マシタ
皆様御樂シミニ一度御來店下サイ
湯本町吹谷九一
喜樂

新築移轉廣告
小名浜町横町に長い間お世話になつて居りましたがこの度左記場所に新築移轉いたしましたので今後共よろしく御願い申上げます
尚從來通り出前も迅速に致しますから電話を御利用下さい
小乃せ食堂
小名濱町辨天横町通り
電五七八番呼（ならや）